

## 説教ワノポイント

あなたは主、知っています

ヨハネ二一・一〜二四

イザヤ六一・一〜三

この箇所も前章に続き、イエスが葬られた後、どのように弟子たちに現れたか伝えていきます。

舞台はティベリアス湖。イエスと出会う前の弟子たちが働いていた場所。ペトロが言いました。「私は漁に行く」。かつての彼の職業、その漁に再び、と。すべて振り出しに戻ってしまったのです。どんな気持ちだったでしょう。イエスに従いきれなかった。裏切る言葉さえ口にした。なんて情けない…。自分で自分を責めたでしょう。肩を落とし、舟をこぎ出しても、何も捕れない。自慢だった漁の腕も鈍ったか…。すべてが裏目、裏目。誰の人生にも一度はそんな時が訪れます。

夜明け。船が戻ろうとすると、岸に人影。「子たちよ、何か食べるものはあるか」。尋ねてきま

す。「ありません!」。いぶかる彼らに今度は「網を降ろしてみなさい」。すると思わぬ大漁。この時わかりました、その人が誰なのか。かつて同じ場面があった。弟子たちがはじめてイエスと出会い、つき従ったあの日にも…。

網には魚一五三四。ようやく陸に上げ、戻ってみると、そこにはすでに炭火。魚まで焼かれている。不漁の心配などいらなかった。すべて準備されていた。

うまくいった、いけない。あれこれ悩む私たち。だが結局、必要なものはすでに用意されている。魚も、パンも。そればかりか、従った後挫折することもイエスは全部知っていて、そんな私たちのためにすでに手をうち、待っていてくださる。懐かしい故郷で、元いたあの場所で。「さあ、朝の食事をしなさい」。語りかけるイエス。弟子たちは心から喜び恵みに与った。その恵みの言葉は今日、私たちにも。